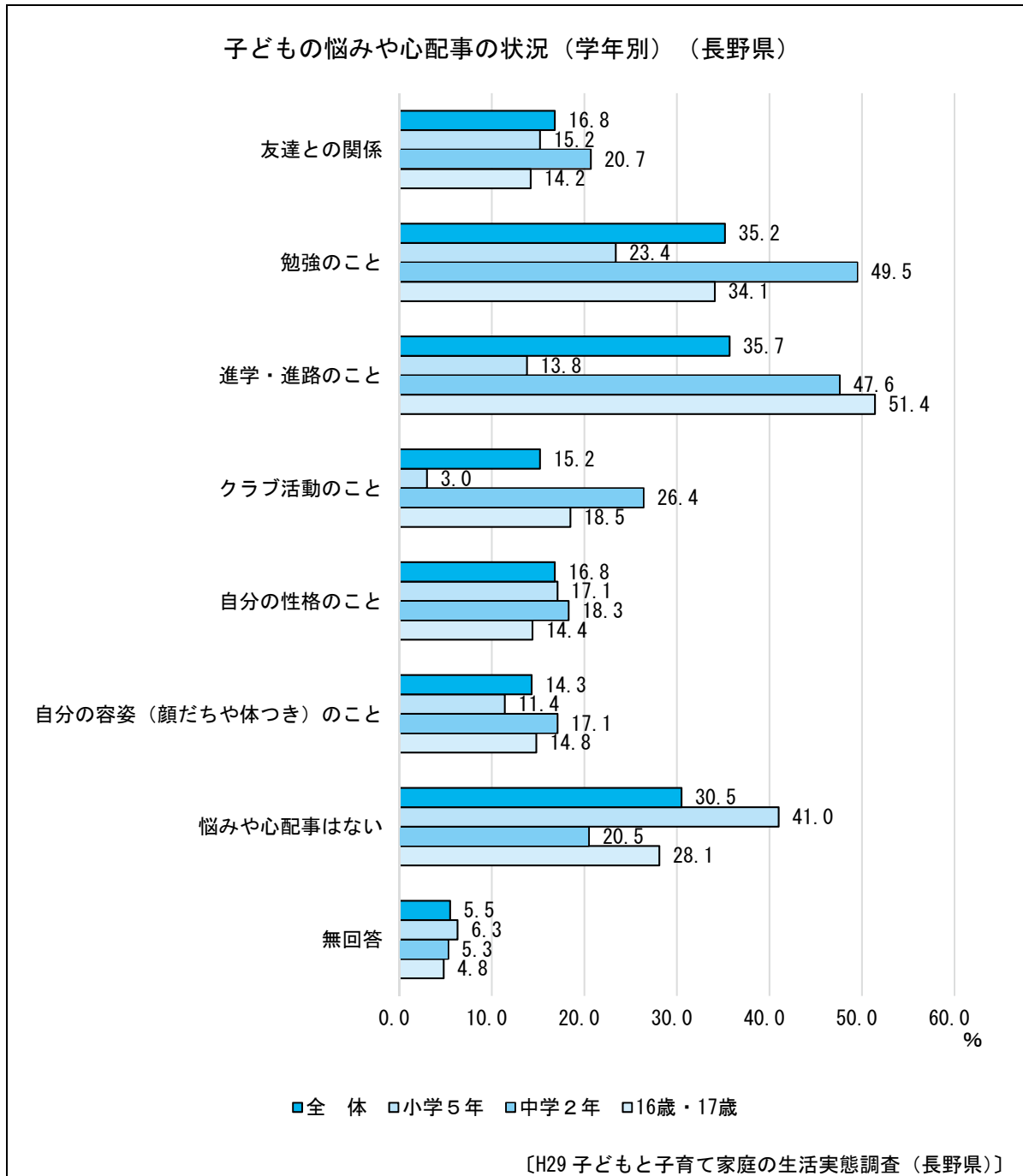


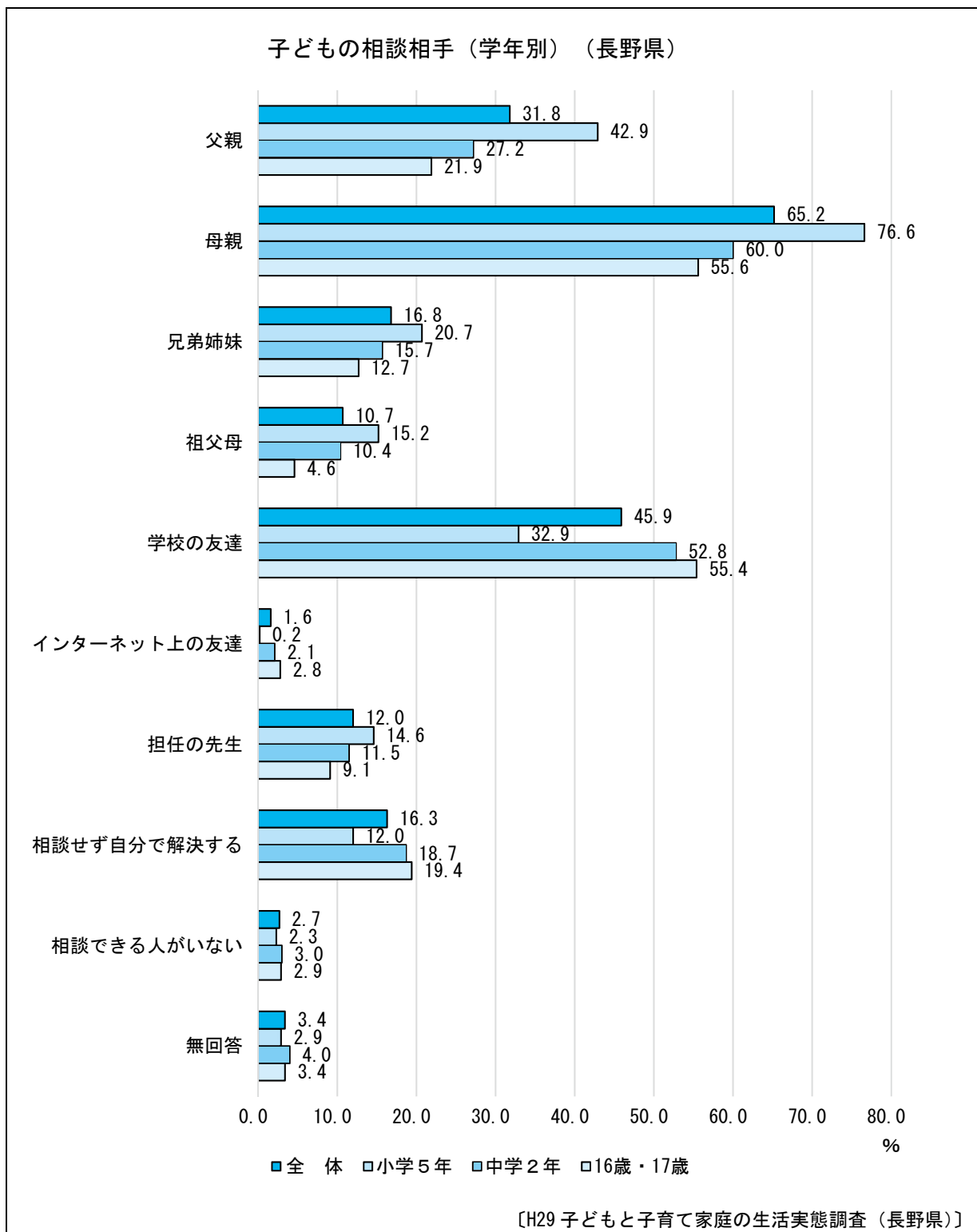
## 第3章 子ども・若者の意識

## ～悩みを抱える子ども・若者たち～

## 子どもが一番の悩みは進学・進路・勉強のこと

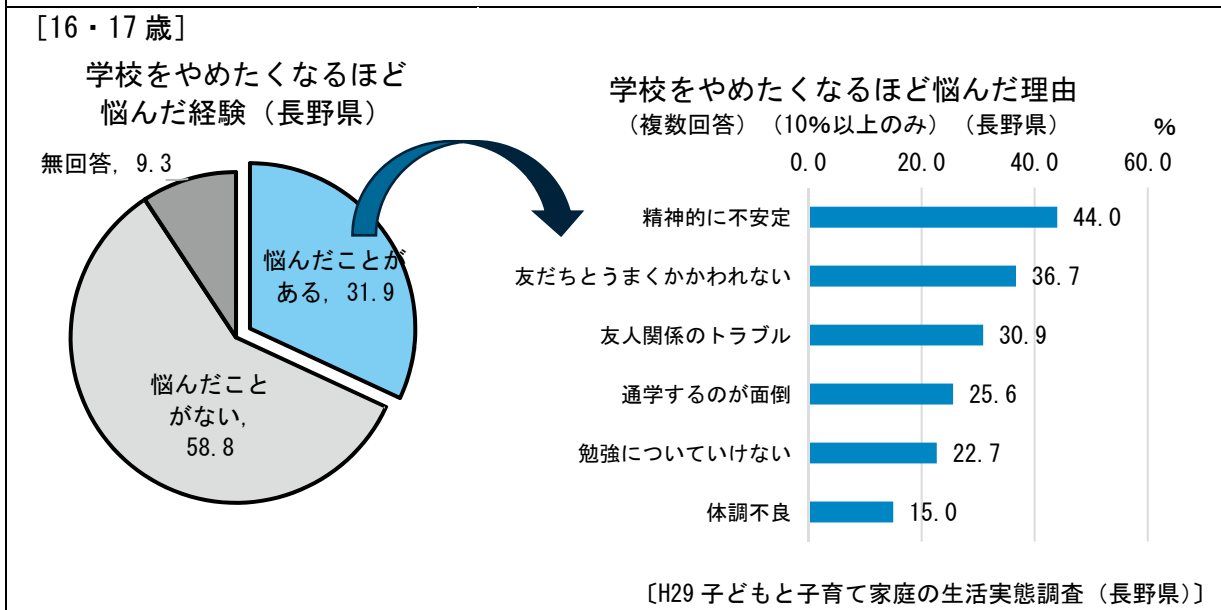
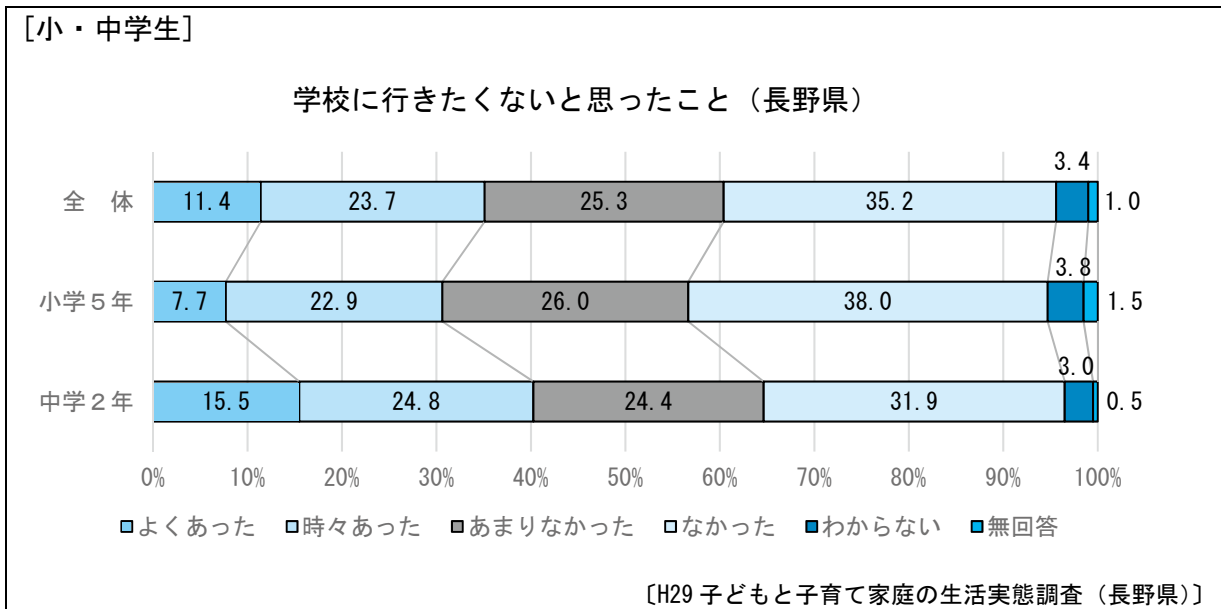
- 多くの子どもが、悩みや心配事を抱えており、中学2年生は「勉強のこと」、16・17歳は「進学・進路のこと」などの割合が高くなっています。また、相談相手としては、「母親」の割合が最も高くなっていますが、学年が上がるにしたがってその割合は低下し、「友達」の割合が増加しています。





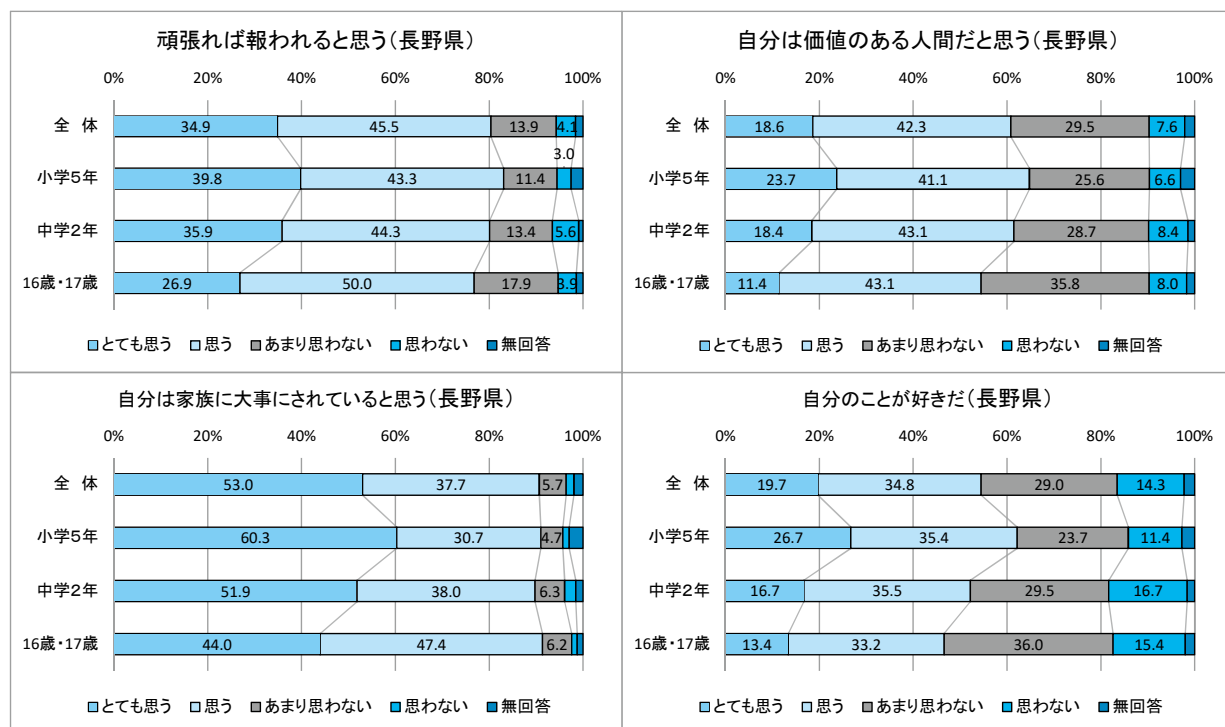
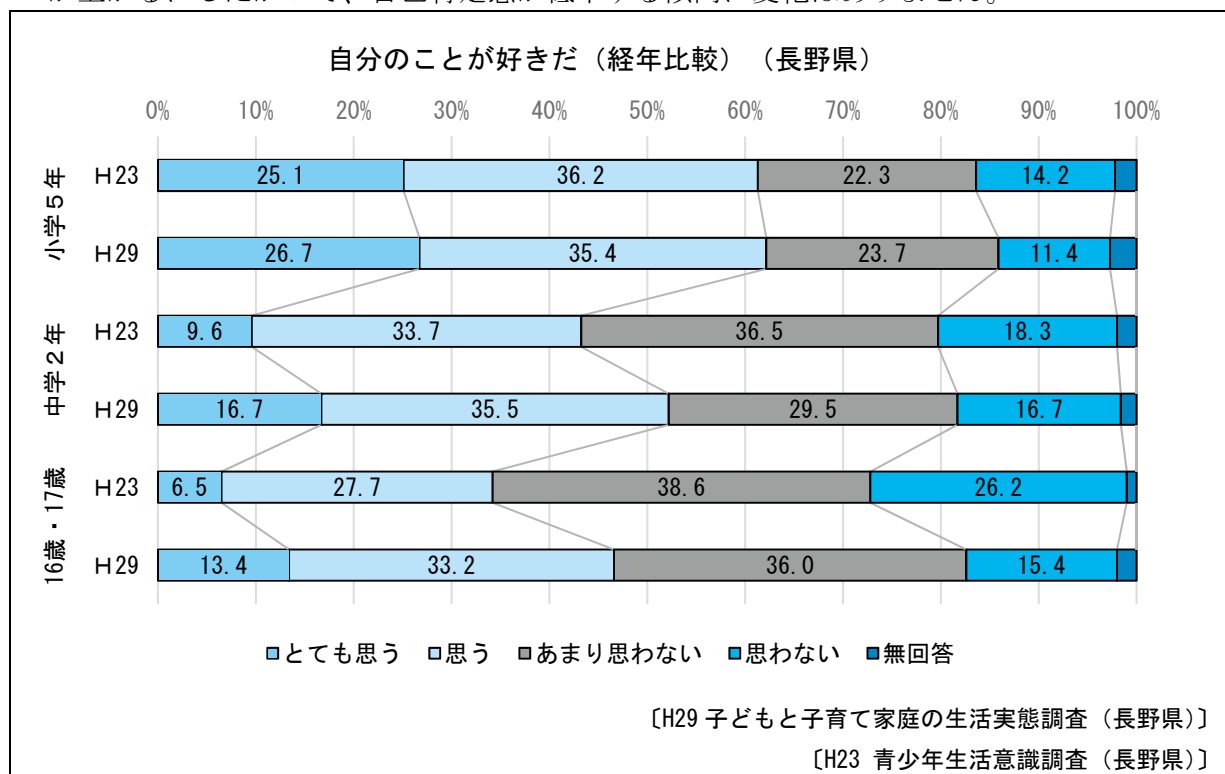
### 学校に行きたくないと思ったことがある子どもは 35.1%

○ 小学校5年生、中学校2年生では 35.1%の児童生徒が学校に行きたくないと思ったことが「よくあった」又は「時々あった」と回答しています。また、16～17歳（高校2年生相当）では 31.9%の生徒が何らかの理由で学校をやめたくなるほど悩んだことがあると回答しており、その理由として「精神的に不安定」が 44.0%、「友だちとうまくかかわれない」が 36.7%となっています。



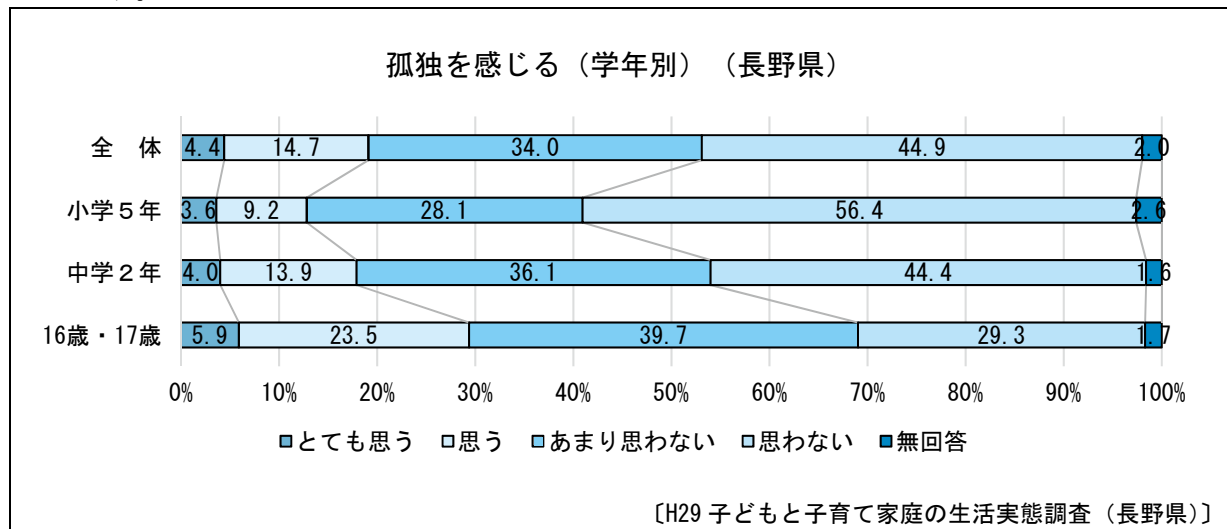
### 年齢が上がるにつれ自己肯定感は低下

○ 6年前に実施した調査と比較すると全ての年齢層で自己肯定感が改善していますが、学年が上がるにしたがって、自己肯定感が低下する傾向に変化はありません。



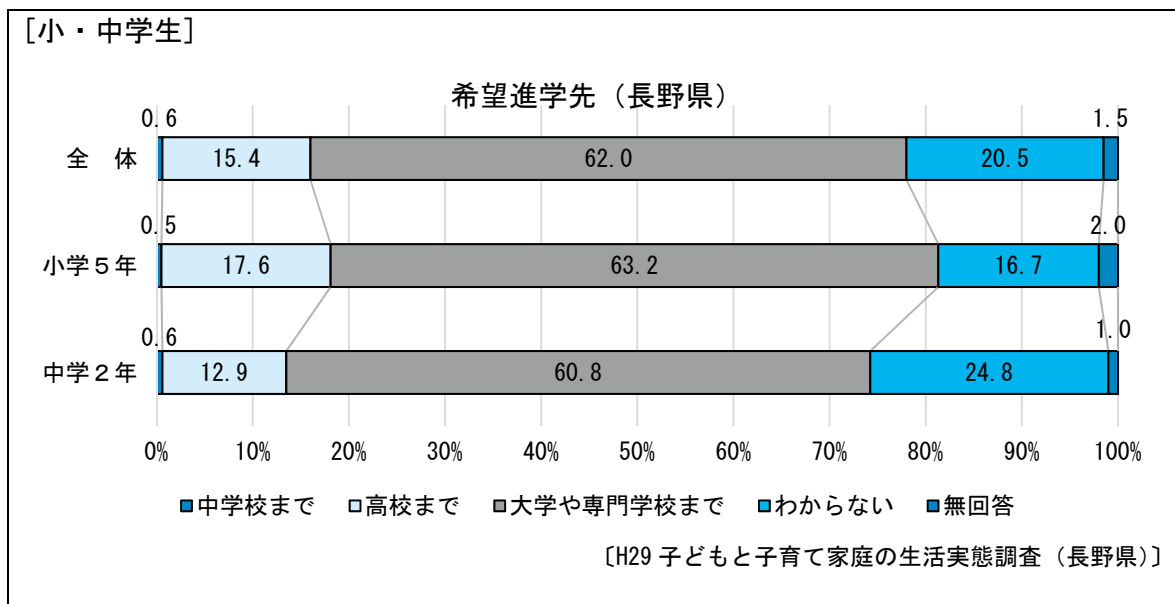
## 年齢が上がるにつれ孤独を感じる子どもは増加

- 全体で19.1%の児童生徒が、孤独を感じており、学年が上がるほどその割合は高くなっています。



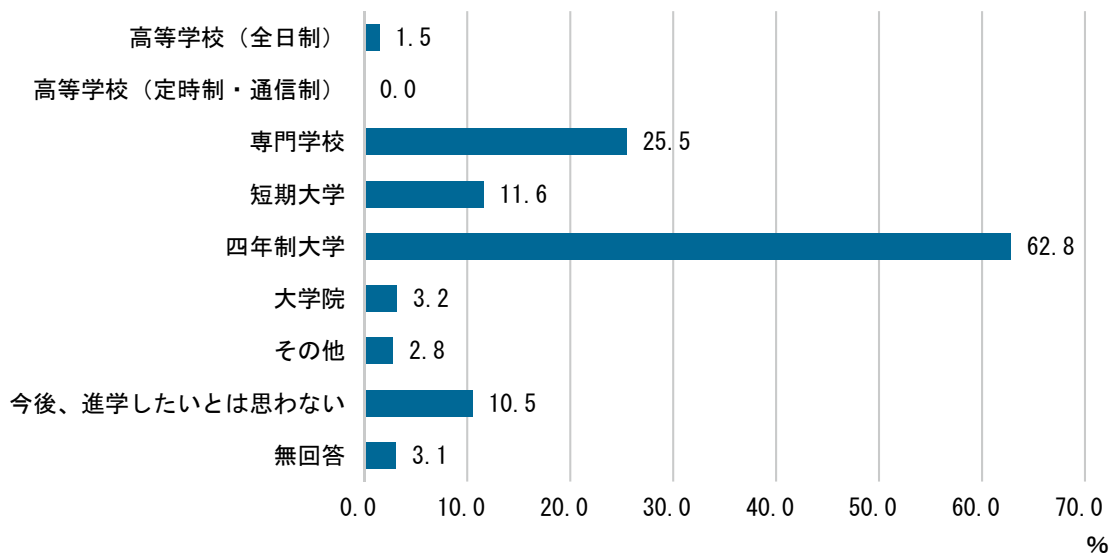
## 6割以上の子どもが大学等の高等教育機関への進学を希望

- 小・中学生では、62.0%の児童生徒が、大学や専門学校等の高等教育機関への進学を希望しています。また、16・17歳では、62.8%が、四年制大学または大学院への進学を希望しています。希望進学先への進学予定がある16・17歳は78.4%、一方、進学予定がない16・17歳うち、その理由として「学力の不安」を挙げているのは14.6%、「経済的理由」は1.3%となっています。

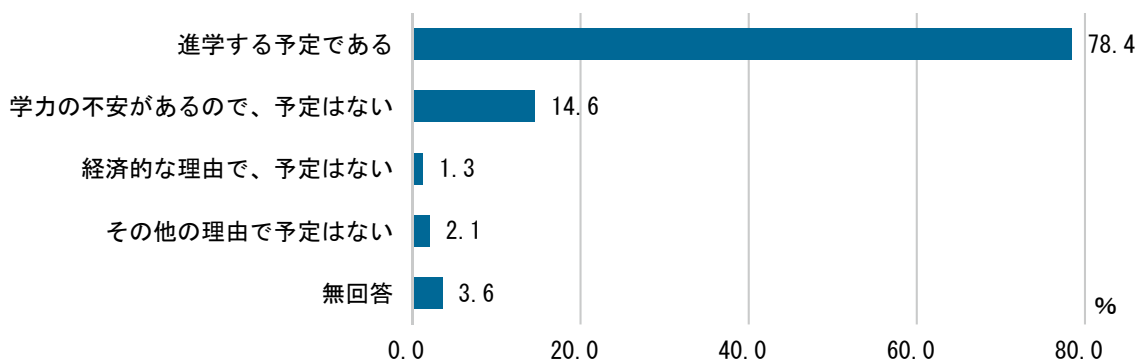


[16・17歳]

## 希望進学先（長野県）



## 希望進学先への進学予定（長野県）



[H29 子どもと子育て家庭の生活実態調査（長野県）]